

事業コード	H29-建-新-04			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	火山砂防事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防えん堤工 ほか			班 名	砂防防災班 (tel)018-860-2518
路線名等	オバコ沢			担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	仙北市田沢湖田沢字打野			担当者名	副主幹(兼)班長 佐藤 鉄也
プランとの 関連	政策コード	01	政策名	県土の保全と防災力強化	
	施策コード	01	施策名	健全な県土保全の推進	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	H30~H34(5年)	総事業費	2.0 億円	国庫補助率	55																																																																									
事業規模	○ 砂防えん堤1基(H=7.5m L=59.0m) ○ 溪流保全工(L=250.0m)																																																																													
事業の立案 に至る背景	○ オバコ沢は仙北市田沢湖田沢字打野地内に位置し、保全対象として人家(16戸)、国道341号(避難経路)、市道、橋梁(4基)、公民館(1戸)等を抱える土石流危険溪流である。 平成25年8月9日の集中豪雨により、山腹崩壊・溪岸侵食が進行し、市道に土砂が流出、人家まで土砂が迫る被害となった。同日、供養佛地区で土石流災害が発生し死者6名に及ぶ甚大な被害となった。当溪流は、供養佛地区から約4kmと近接しており、流域面積は供養佛地区の約3倍であるため、災害発生時は大規模な被害になると想定される。 当溪流は荒廃が進行し不安定な土砂・流木が堆積しており、豪雨や融雪等により土石流が発生した場合、人家や道路等の公共施設に甚大な被害をおよぼす恐れがある。そのため、砂防施設を整備することにより土砂災害から人命・財産を守るため、新規事業箇所として実施が必要である。																																																																													
事業目的	【主たる目的】 ○ 砂防施設の整備により、下流の人家や重要公共施設を保全し、安全・安心な地域の創出を図る。 【保全対象】 ○ 人家16戸 ○ 国道341号 L=290m ○ 市道 L=1,214m ○ 橋梁4基 ○ 公民館1戸等																																																																													
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>全 体</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度</th> <th>H33年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td>200,000</td> <td>20,000</td> <td>40,000</td> <td>60,000</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">経費</td> <td>工事費</td> <td>155,000</td> <td></td> <td>15,000</td> <td>60,000</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>15,000</td> <td></td> <td>15,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>その他</td> <td>30,000</td> <td>20,000</td> <td>10,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>110,000</td> <td>11,000</td> <td>22,000</td> <td>33,000</td> <td>44,000</td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>81,000</td> <td>8,100</td> <td>16,200</td> <td>24,300</td> <td>32,400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,000</td> <td>900</td> <td>1,800</td> <td>2,700</td> <td>3,600</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td></td> <td>地形測量等 詳細設計</td> <td>用地補償 工事用道路</td> <td>砂防えん堤工</td> <td>溪流保全工 管理用道路</td> </tr> </tbody> </table>							全 体	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度以降	事業費		200,000	20,000	40,000	60,000	80,000	経費	工事費	155,000		15,000	60,000	80,000	用補費	15,000		15,000			内訳	その他	30,000	20,000	10,000			財源						内訳	国庫補助	110,000	11,000	22,000	33,000	44,000	県債	81,000	8,100	16,200	24,300	32,400	内訳	その他						一般財源	9,000	900	1,800	2,700	3,600	事業内容			地形測量等 詳細設計	用地補償 工事用道路	砂防えん堤工	溪流保全工 管理用道路
		全 体	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度以降																																																																								
事業費		200,000	20,000	40,000	60,000	80,000																																																																								
経費	工事費	155,000		15,000	60,000	80,000																																																																								
	用補費	15,000		15,000																																																																										
内訳	その他	30,000	20,000	10,000																																																																										
	財源																																																																													
内訳	国庫補助	110,000	11,000	22,000	33,000	44,000																																																																								
	県債	81,000	8,100	16,200	24,300	32,400																																																																								
内訳	その他																																																																													
	一般財源	9,000	900	1,800	2,700	3,600																																																																								
事業内容			地形測量等 詳細設計	用地補償 工事用道路	砂防えん堤工	溪流保全工 管理用道路																																																																								
調査経緯	平成27年度 県単砂防事業 砂防流域調査業務 平成28年度 県単砂防事業 予備設計業務																																																																													
上位計画での 位置付け	○ 第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける基本政策「県土の保全と防災力強化」を推進																																																																													
関連プロジェクト等	○ 特になし																																																																													
事業を取り 巻く情勢の 変化	○ 平成25年8月9日に市道へ土砂流出があり、人家にも流出した土砂が迫った。溪流に不安定な土砂・流木が堆積しているため、土石流災害発生危険度は非常に高い。 ○ 平成26年8月に広島県で発生した土砂災害以降、土砂災害警戒区域等の指定によるソフト対策と施設整備によるハード対策が全国的に急務となっている。																																																																													
事業効果把 握の手法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">土石流危険溪流に対する概成率(%)</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>指標式</th> <th colspan="2">対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>指標の種類</th> <th>○ 成果指標</th> <th>● 業績指標</th> <th>低減指標の有無</th> <th>○ 有 ● 無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値 a</td> <td></td> <td>17.5 %</td> <td rowspan="2">データ等の出典</td> <td rowspan="2">河川砂防課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td></td> <td>16.7 %</td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td></td> <td>95.4 %</td> <td>把握の時期</td> <td>平成29年 4月</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	土石流危険溪流に対する概成率(%)				指標式	対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)				指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a		17.5 %	データ等の出典	河川砂防課調べ	実績値 b		16.7 %	達成率 b/a		95.4 %	把握の時期	平成29年 4月																																													
指標名	土石流危険溪流に対する概成率(%)																																																																													
指標式	対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)																																																																													
指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																																										
目標値 a		17.5 %	データ等の出典	河川砂防課調べ																																																																										
実績値 b		16.7 %																																																																												
達成率 b/a		95.4 %	把握の時期	平成29年 4月																																																																										

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土石流が発生した場合、人家のみならず、国道341号(避難経路)が被災し、打野地区等の住民が避難所へ移動することが困難になるため、事業の必要性は高い。 ○ 砂防法第5条により工事の施行は都道府県が行うものと位置付けられている。 	27点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該溪流は斜面が急で、崩落土砂・流木が堆積しており、豪雨や融雪等により土石流が発生する危険性が高いため、早急な整備が必要である。 	35点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設を整備することにより、土石流災害から人命や財産が守られ、下流域の安全性が短期間に確保される。 ○ 土石流危険溪流に対する整備率向上に直接寄与する事業であり、施策目標への貢献度は高い。 ○ 第2期ふるさと秋田元気創造プランの施策を直接的に推進する内容の事業である。 	8点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の費用便益比は7.50であり効率性は高い。 <ul style="list-style-type: none"> ・総費用の現在価値 1.96 億円 ・総便益の現在価値 14.70 億円 ○ 事業実施においては、残存型枠使用によるコスト削減等の検討を行う。 	15点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年の供養佛地区での土石流災害を受け、仙北市の防災意識が高く、事業への必要性を強く認識している。 ○ 地元住民及び仙北市から、施設整備の要望書が提出されている。 	10点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	95点
	多くの項目において評価点が高く、住民の生命・財産だけでなく、重要公共施設を保全するため必要性が高い。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	
	各観点の評価結果から、事業実施箇所として優先度が高く、事業を実施すべきだと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (H29-建-新-04)
箇所名 (仙北市田沢湖田沢字打野)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	災害発生時の影響(被害想定)	人家戸数	20戸以上	10	7	人家16戸
			5戸～19戸	7		
			1戸～4戸	3		
			0戸	0		
	公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 災害時要援護者関連施設 重要交通(緊急輸送道路、避難路、鉄道等) 防災拠点(警察、消防、役場等) ライフライン施設(電力、ガス、水道等) 利用者多数(学校、駅舎等)	公共・公益施設がある	10	10	国道341号(避難経路、バス路線) 市道、橋梁4基 公共・公益施設(公民館)
			なし	5		
			なし	0		
	事業の必要性					
	県関与の必要性	法令等で県が実施する事業 県が実施すべき広域的な事業 県が実施した方が望ましい事業		5	5	砂防法第5条により、県が施行する工事
				3		
				1		
	流域の整備状況					
	砂防設備の整備状況	未整備 低い(土砂整備率30%以下) 低い(土砂整備率30%超)		5	5	
			3			
			1			
計			30	27		
緊急性	災害実績					
	過去の災害発生履歴	過去に災害の発生した記録がある	10	10	平成25年8月9日の豪雨により市道に土砂流出	
		過去に災害の発生した痕跡や情報がある	5			
		なし	0			
	災害発生の危険度					
	想定される流出土砂量	1000m3以上	7	7	計画流出土砂量13,204m3	
		1000m3未満	3			
	想定される流出流量	20m3以上	6	6	計画流出流量144m3	
		20m3未満	3			
	荒廃面積	流域面積の10%以上	6	6	荒廃率32.17%	
流域面積の10%未満		3				
河床堆積、溪岸侵食状況	破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯	6	6	火山噴出物地帯		
	その他	3				
計			35	35		
有効性	上位計画への貢献					
	ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5	「県土の保全と防災力強化」を推進する事業	
		プランとは別の個別計画に関連する事業である	3			
		プラン、個別計画に関連しない事業である	0			
	ソフト対策との関連性					
公表周知している情報の内容	土砂災害防止法に係る基礎調査	5	3	土砂災害危険箇所(土砂災害危険箇所ランクI) ※ランクI:保全対象人家5戸以上		
	土砂災害危険箇所マップ等	3				
	なし	0				
計			10	8		
効率性	費用対効果					
	B/C	1.0以上	10	10	B/C 7.50	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
コスト削減の具体的計画	あり	5	5	残存型枠施工等の採用を検討して縮減を図っている		
	なし	0				
計			15	15		
熟度	事業着手の熟度					
	地元のニーズ	文書要望あり	5	5	仙北市からの要望書あり	
		口頭要望あり	3			
		なし	0			
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる	5	5	地元の了解済み	
		合意形成がなされる見込みである	3			
合意形成がなされていない		0				
計			10	10		
合計				100	95	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		